

全日本吹奏楽コンクール課題曲 募集要項

(第 36 回朝日作曲賞)

一般社団法人 全日本吹奏楽連盟・朝日新聞社

1 応募資格 特に問わない。

2 応募規定

吹奏楽曲(行進曲及び行進曲以外)で、全部門(中学生、高等学校、大学、職場・一般)を対象とした課題曲として、次の(1)～(8)を満たした作品。

- (1) あくまでもアマチュアが演奏する『課題曲』であることを基本に考える。
- (2) 演奏に際して、楽器の特性上の無理がなく、かつ、無理なく合奏が成立する、親しみやすい曲であること。高度な技術を要するパッセージ、困難な音域(標準音域表を参照)、特殊な奏法は避けること。
- (3) 編成は別掲の[A]または[B]の何れかとする。
- (4) 声部が整った作品であること。
- (5) 未発表未出版で、オリジナル作品であること。
- (6) 演奏時間は「3分程度から4分以内」とする(時間以内に収めるため実際に演奏するには高度な技術を要するような速度設定にはしないこと)。
- (7) 編成は別掲のとおりとする。
- (8) 応募は、一人1点とする。

※ 上記(1)～(8)に準じていない場合は、審査対象外とすることがある。

3 応募料 10,000 円(税込)とする。

4 審査

(1) 第1次審査 スコアによる審査(フルスコア・コンデンススコア)

- ① 結果は、郵送で3月初旬頃に通知する。
- ② フルスコア・コンデンススコアの送付に合わせて mp3 音源ファイル(実演奏でなくパソコン等で作成したもの)をメール添付にて提出すること(ファイル名は曲名)。
メール宛先は ajba_office@googlegroups.com
なお、B編成の音源には()書きの楽器および人員を含めないこと。

(2) 第2次審査 フルスコア・コンデンススコアと音源を用いた審査

- ① 結果は、郵送で4月末に通知する。
- ② 通過者は、フルスコアと試奏用パート譜を提出すること。提出期限は5月上旬の予定。

(3) 第3次審査 試奏による審査

※ 審査はいずれも非公開とする。

5 審 査 員（五十音順、敬称略）

天野正道、中橋愛生、福島弘和、全日吹連・朝日新聞社の代表者

6 表 彰

(1) 朝日作曲賞 〈1点〉 100万円

(2) 入 選 〈1点〉 30万円

※ 朝日作曲賞を受賞した者は、次年度は受賞することができない。

ただし、応募は可とし、審査の結果入選は認める。

※ 朝日作曲賞受賞曲と入選曲を合わせて、以下、入賞曲とする。

7 入 賞 曲

(1) 入賞曲は 2027 年度課題曲とする。

(2) 試奏・楽譜制作・収録の段階で、部分的に手直しをお願いする場合がある。

(3) 入賞曲を補作する場合がある。

8 発 表

入賞曲は、朝日新聞紙上、会報「すいそうがく」、連盟ホームページ等で発表する。

9 著 作 権

入賞曲の著作権は、2026 年 7 月 25 日から 2028 年 12 月 31 日まで、全日本吹奏楽連盟に帰属する(著作権譲渡契約を結び、その期間中はいかなる理由においても契約書の内容を厳守すること。なお、期間終了後は速やかに著作権を作曲者に返却する。)。

10 応 募 方 法

次の(1)～(5)を、郵送(ゆうパックまたは簡易書留)及び宅配便のみ（＝配達記録が残るもの）にて受け付ける。応募先は下記 13 のとおり。なお、事務局窓口では受け付けない。

(1) フルスコア（総譜）、コンデンススコア^(※1) 各 3 部

(2) mp3 音源ファイルのメールによる提出^(※2) (4 審査の(1)-②参照のこと)

(3) 所定の申込書

(4) 10,000 円分の定額小為替または普通為替（為替には何も記入しないこと）

(5) 110 円切手を貼り、住所・氏名を明記した返信用封筒（長 3 封筒）

(※1)コンデンススコアは声部を整頓・簡易化した形とする（近年の課題曲コンデンススコアのように全ての音を網羅した詳細なものでなくてよい）。

(※2)提出はメール添付のみ（ダウンロードサイトの利用は不可）。

11 応募受付期間 2026年1月14日(水)～1月16日(金)
(期間内必着、営業時間[10時～17時]内のみ受付)

12 応募作品について

(1) 応募フルスコアは次の何れかとする。

① コンピュータ浄書のもの(サイズ：片面 A3 縦判 ※両面印刷でも可)。楽器の順番は別掲「編成」の順とする。

② 所定の「連盟 A3 判五線紙」を使ったもの。必要な場合は、3,000 円(50 ページ、税送料込)を添えて連盟事務局まで請求のこと。

※ ①②とも見やすく製本すること(ホチキス止めのみのものや、クリアブック(冊子型ファイル)等は不可)。

(2) コンデンススコアはコンピュータ浄書のもの(サイズ：片面 A4 縦判 ※両面印刷でも可)または一般の A4 判五線紙でフルスコアと同様に製本すること。

(3) スコア表紙には曲名のみを記入し、氏名は記入しない。

(4) 練習番号を記載すること。

(5) メトロノーム表示など具体的な速度表示や発想記号表示を記載すること。

(6) 応募作品は返却しないので、コピーを提出すること。

(7) 上記(1)～(5)の要件を満たしていないものは、審査対象外とすることがある。

(8) 提出した作品の変更はできない。

(9) 応募作品に、^{ひょうせつ}剽窃等の疑義が認められた場合をはじめ、第三者の権利を侵害する恐れがある場合には、入賞後でも取り消すことがある。

13 応募・問い合わせ先

〒102-0075 東京都千代田区三番町 24 林三番町ビル 5F 全日本吹奏楽連盟

TEL : (03)3234-6028 FAX : (03)3234-1005 e-mail : info@ajba.or.jp

(音源ファイル送付先 ajba_office@googlegroups.com)

◆ 編 成 次の[A]または[B]の何れかとする。

[A]	[B] ※
Piccolo	(Piccolo)
Flute I II	Flute I (II)
Oboe	(Oboe)
Bassoon	(Bassoon)
E♭ Clarinet	(E♭ Clarinet)
B♭ Clarinet I II III	B♭ Clarinet I II (III)
E♭ Alto Clarinet	(E♭ Alto Clarinet)
B♭ Bass Clarinet	B♭ Bass Clarinet
E♭ Alto Saxophone I II	E♭ Alto Saxophone I II
B♭ Tenor Saxophone	B♭ Tenor Saxophone
E♭ Baritone Saxophone	E♭ Baritone Saxophone
B♭ Trumpet I II III	B♭ Trumpet I II (III)
F Horn I II III IV	F Horn I II (III IV)
Trombone I II III	Trombone I II (III)
Euphonium	Euphonium
Tuba	Tuba
String Bass	(String Bass)
Percussion(5 名以内で演奏が可能であること)	Percussion 4 名以内 (5 名以内)

※ B 編成の曲は、() の楽器を用いなくても (打楽器においては () の人数でなくとも) 演奏が成立し、小編成を基本としつつ、A 編成にも対応できる楽曲。

【打楽器について】

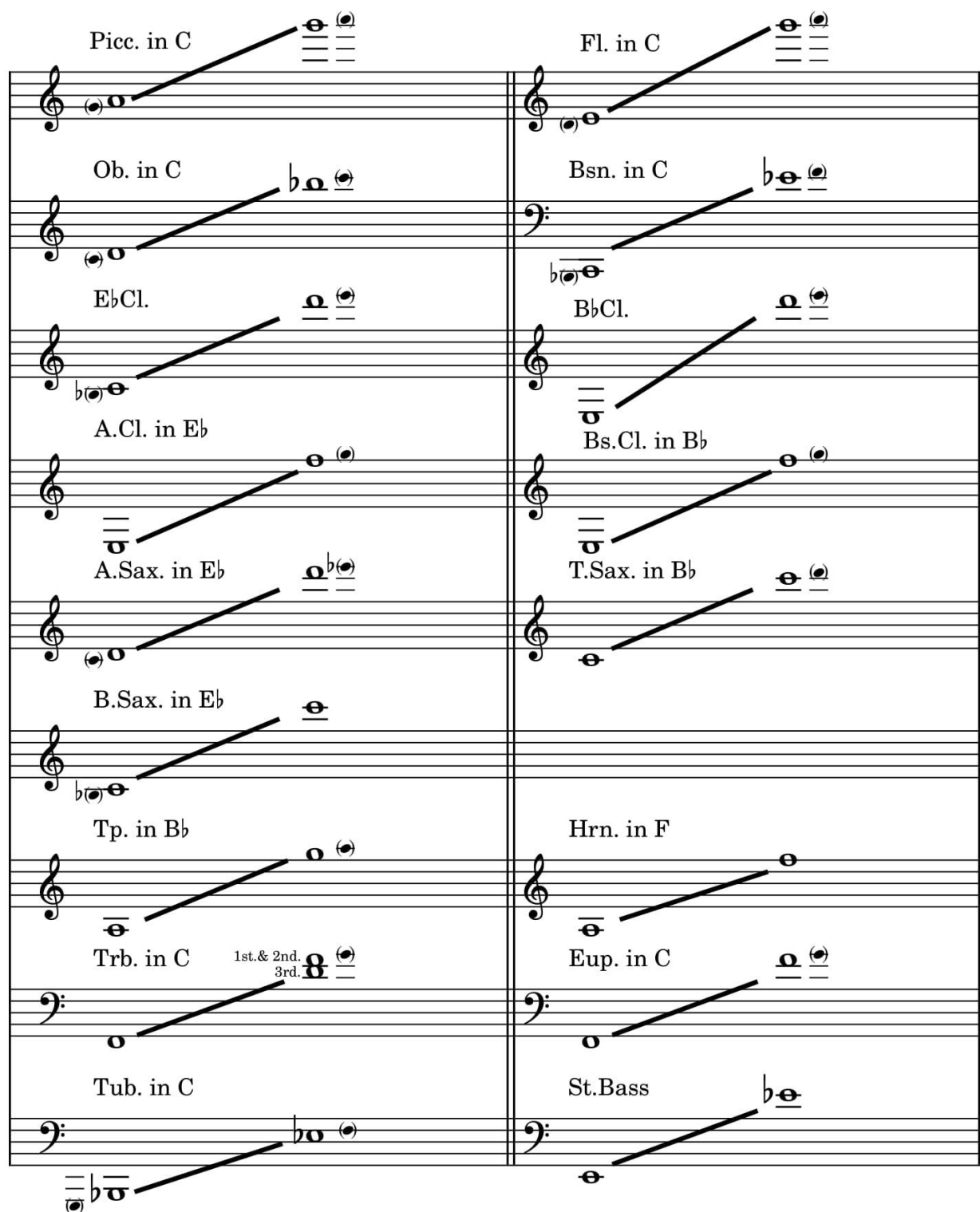
[A] [B]とも次の打楽器の中から選択すること (記載以外は不可)。

Timpani (23" 26" 29" 32")	Snare Drum	Bass Drum	Crash Cymbals
Suspended Cymbal	Tom-tom	Tam-tam	Triangle
Tambourine	Sleigh Bells	Maracas	Castanets
Wind-Chime	Conga	Bongo	Claves
Drum-Set	Wood Block	Vibra-slap	Glockenspiel
Xylophone	Vibraphone		

【試奏】

[B]編成の試奏審査は () 内の楽器を編成に含まないで行う。

標準音域表 Standard Ranges



©2007-2023 All Japan Band Association (Tokyo, Japan)

(※) 全音符と(●)の間の音は、音域に含まれるものとする

第 36 回朝日作曲賞 申 込 書

ふりがな 曲 名	(邦題のみ)	
演奏時間	分	秒
曲 種 (何れか1つに○)	行進曲	行進曲以外
応募編成 (何れか1つに○)	A	B
ふりがな 氏 名		
住 所	〒 (—)	
電話番号	(自) (携帯)	
e-mail		
生年月日		
音楽上の 略 歴		